

ビジョン

2030年ビジョン

すべての人に、「生活の可能性が広がる喜び」を提供する
— 世界中の一人ひとりの「移動」と「暮らし」の進化をリードする —

取り組みの方向性

- 「移動」と「暮らし」の価値創造
- 多様な社会・個人への対応
- クリーンで安全・安心な社会へ

2030年ビジョンの制定

貧困や難民問題、人権問題、気候変動、エネルギー問題、労働安全衛生の改善、高齢化社会など、多くの社会的課題が取りざたされるなか、グローバルで多岐にわたるビジネスを行っている Honda にとって、バリューチェーンにおける機会や責任を理解することは、経営上の優先課題を特定するうえでも欠かせません。Honda は、つねに変化する社会やステークホルダーのニーズも考慮に入れつつ、「2030年ビジョン」を策定しました。

Honda が策定した 2030 年ビジョンは、「すべての人に、『生活の可能性が広がる喜び』を提供する—世界中の一人ひとりの『移動』と『暮らし』の進化をリードする—」というステートメントで表されるものです。

ビジョン実現に向けた取り組みの方向性

Honda は、2030 年ビジョンを達成するため、取り組みの方向性を 3 つ決めました。

一つ目は、『移動』と『暮らし』の価値創造です。

今後、自動運転、IoT、人工知能 (AI) などが生活のあらゆる場面に入り込み、さらにクラウドテクノロジーが進化するなど、産業構造の変化が起こると想定されます。また、消費動向をはじめとする生活者の価値観の変化も、急速に進むと考えられます。

Honda は、「自由で楽しい移動の喜びの提供」と「生活が変わる・豊かになる喜びの提供」をめざしていきます。これまで培ってきた航空機からヒューマノイドロボットまでの幅広い技術力と、それを実現させてきた発想する力、実現する力が、Honda の強みです。これらを活かすために、モビリティに加えて、ロボティクス、エネルギーの 3 分野へ技術・製品・サービスの展開を進め、世界中の「暮らし」に、これまでにない新価値を提供していきます。

二つ目は、「多様な社会・個人への対応」です。

Honda は、多様な文化・価値観を持つ一人ひとりに向けて、それぞれ望むもの、必要なものだけにとらわれず、さらに、これまで見たことのない、想像もつかないような新たな価値の提供をめざしていきます。多様な社会は、多様な個人の集まりで形成されています。老若男女、年齢や文化の違いなどにかかわらず、世界 70 億人以上のさまざまな価値観を持つ方々に貢献していきます。

三つ目は、「クリーンで安全・安心な社会へ」です。

環境領域では、「カーボンフリー社会」の実現に向け、再生可能エネルギーの有効活用や製品の ZEV (Zero Emission Vehicle) 化、電動化の積極的推進などを通じ、ゼロエミッション社会に向けた取り組みを加速します。

安全領域では、「交通事故ゼロ社会」実現に向け、創業時からこれまで積極的に進めてきた交通安全教育の促進はもとより、知能化やコネクティビティの技術で車両の安全性を向上するなど、すべての交通参加者に安全・安心を提供していきます。

Honda は、「カーボンフリー社会」と「交通事故ゼロ社会」の実現をリードする存在をめざしていきます。

ビジョン

2030年ビジョンの位置づけ

Honda は、「Honda フィロソフィー」を企業活動の原点としています。また企業の成長機会の創出とサステナブルな社会の実現を両立させることで、21世紀の方向性である「存在を期待される企業」となることをめざしていきます。そのために、「喜びの創造」「喜びの拡大」「喜びを次世代へ」を活動指針として取り組んできました。これらはまた、2030年ビジョンの取り組みの方向性とも呼応しています。

ステークホルダーと Honda の両視点を踏まえた課題の評価である「マテリアリティマトリックス」をガイドに、グローバルの地域ごとの特色に照らし合わせ、果たすべき役割や貢献すべき点を考慮した中長期の事業戦略を策定しています。

社会が Honda に期待するものは、時代とともに変化し続けています。Honda はこれからも責任あるグローバル企業として、社会やステークホルダーの声に耳を傾けながら、その信頼と期待に応えられるよう、課題解決にスピーディに取り組んでいきます（⇒ P.11「マテリアリティマトリックス」、⇒ P.21「ステークホルダーエンゲージメント」）。

